

令和 3 年度 市民参加と市民協働の実施状況に関する総合的評価について

昨年度版

狛江市市民参加と市民協働に関する審議会は、市長より諮問を受け、狛江市の市民参加と市民協働の実施状況に関する総合的評価を実施し、以下のとおりまとめた。

市として、様々な施策のより良い実施を目指して試行錯誤し続ける姿勢をもって、参加と協働の推進をお願いし、当審議会の答申とする。

第一章 総合的評価について

網掛け部分のみ3年度数値（速報値）に修正済

狛江市（以下「市」という。）は、平成 15 年 4 月に「狛江市の市民参加と市民協働の推進に関する基本条例」（以下「基本条例」という。）を施行し、以降、様々な市民参加手続きと市民協働事業を実施してきた。

狛江市市民参加と市民協働に関する審議会（以下「審議会」という。）は、基本条例の第 30 条第 1 項の規定により設置され、同条第 2 項の規定により、市長から以下のとおり、諮問を受け調査及び審議を行っている。

（1）市民参加と市民協働の実施状況に関する総合的評価の実施、市民参加と市民協働の推進の検討と改善

（2）市民参加の手続きの方法及び市民協働事業の提案に関する事項
本総合的評価は、第 1 号の諮問を受け、実施するものである。

第二章 市民参加の評価

1. 令和 2 年度の市民参加の実施状況

（1）市民参加手続き等の種類

市民参加の定義：

「行政活動に市民の意見を反映するため、行政活動の企画立案から実施、評価に至るまで、市民が様々な形で参加すること」（基本条例第 2 条第 1 号）

市民参加に関する具体的な手続き

- 1 審議会等（基本条例第 2 章第 2 節）
- 2 パブリックコメント（同第 3 節）
- 3 公聴会（同第 4 節）
- 4 その他の市民参加手続き（説明会、ワークショップ、フォーラムまたはシンポジウムなど）（同第 5 節）

（2）市民参加の実施状況等

◆審議会等

（公募市民委員の充足率）

95.5%（平成 31 年度：83.2%、令和 2 年度：85.0%）

前年度より上昇しており、引続き充足するよう努めてほしい。

(公募市民委員の女性割合)

54.0% (平成 31 年度 : 49.4%、令和 2 年度 54.0%)

令和 2 年度においては女性の割合が男性の割合より高くなっている。引続き男女の割合が大きく偏ることのないよう努めてほしい。

(審議会等の公開)

原則公開。今後も開かれた市民参加の機会が確保されるよう努めてほしい。

(会議録の公表と公表時期について)

会議録の公表時期については、「期間内に公表できなかった」「一部期間内に公表できなかった」が見受けられる。さらなる改善の努力が望まれる。

◆パブリックコメント

4 事業 (令和 2 年度 : 5 事業)

施策事業によっては多くの意見が提出されているものもあるが、反映された・取り入れられた件数としては少ないものが多い。

◆公聴会

平成 17 年 1 月に、ゴミの有料化問題に関する公聴会以来実施されていない。

◆その他の市民参加手続き

13 件 (令和 2 年度 : 11 件)

内訳 : 市民説明会 5 件 (令和 2 年度 8 件)、市民フォーラム 2 件 (令和 2 年度 0 件)、シンポジウム 0 件 (令和 2 年度 1 件)、その他 6 件 (令和 2 年度 2 件)

参加者数が少ないものもあるが、狛江市の将来像を考えるシンポジウム等参加者が多いものもあり、内容によっては市民の関心の高さが感じられる。引続き、市民モニター制度の活用や施策事業の効果的な周知等により、より一層の推進を期待する。

(3) 市民モニター

情報発信 : 7 件 (令和 2 年度 : 6 件)

アンケート調査 : 0 件 (令和 2 年度 : 0 件)

前年度より件数が減少となっているが、更なる活用を期待する。

(4) 審議会等の委員アンケート集計結果

令和 2 年度に市の審議会等に参加していた公募市民委員を対象に行ったアンケート結果の特徴は次のとおりである。

- 1 回答者の年代は 70 代が 32.5%と最も多く、続いて 60 代が 26.3%、50 代が 18.8%であった。
- 2 審議会等に参加したきっかけ・理由については、「審議内容に興味・関心があった」が 23.3%と最も高く、続いて「市政に協力したかった」が 16.3%、「市民参加・市民委員に興味があった」が 15.3%であった。

- 3 会議の審議内容については「充実していた」は前年度（81.4%）より減少し 69.6%であった。また、会議において「十分発言できた」と感じた方は 46.8%と半数を下回っているが、「意見が取り入れられた」と思う方は 66.2%となっている。
- 4 会議への参加については、88.5%が「良かった」と回答しており、今後「積極的に応募したい」は 50.6%であった。一方で「もう応募しない」は 27.3%で、その理由として「多くの市民に参加してほしい」が 62.5%と最も多かった。
- 5 オンラインによる会議運営については、「審議に影響がなかった」が 19.5%と最も多く、続いて「オンライン併用の場合、会議室の雰囲気が届きづらかった」と「会議室で参加の方が安心だった」が各 18.2%であった。また、オンラインによる会議開催については、「オンライン・会議室等での参加等の選択肢があるとよい」が 55.8%と最も多かった。

回答者も 60 代以上が約 7 割を占めており、若い世代の参加が少ないことが読み取れることから、オンライン参加等の参加方法の選択肢を設定する等、幅広い年代の委員確保に向けて引続きより良い実施方法を目指してほしい。また、広報のほか、無作為抽出制度により募集を知った方も 2 割弱を占めていることから、募集方法についても関心の低い層にも募集情報が届く工夫等を図っていただきたい。

2. 市民参加の実施等に係る評価

市民参加手続きについては、新型コロナウイルス感染症の影響もあったと思うが、審議会等の開催にあたりオンラインを活用する等各部署において適切に実施されているものと感じられる。審議会等における公募市民委員についても、充足率や女性割合の増加等評価できるものであった。

当審議会においても公募市民委員の多くは無作為抽出制度による参加者が多く、市民参加に興味を持つ 1 つのきっかけにつながっているものと考えられるが、改めて「市民参加とは何か？」を発信することや公募市民委員募集の働きかけ、時間等物理的に制約がある方への参加機会の門戸拡大等が必要と考える。

また、基本条例に規定されている市民参加手続き（審議会等、パブリックコメント、ワークショップ等）のほか、言いたいことを自由に伝えることができる機会やツール、双方向による参加手法の検討等、市民参加のハードルを下げるための取組を進めていただきたい。

（推進に向けた取組）

- ・ 審議会等の全体感が分かる情報や募集予定等を分かりやすく発信する。
- ・ 講座等の学ぶ意欲のある方が集まる場所、多くの人が集まる場所、市内企業等へ参加の働きかけを行う。
- ・ LINE 等の活用によりいつでも市民参加に関する情報収集ができる仕組みを作る。

第三章 市民協働の評価

1. 令和 2 年度の市民協働の実施状況

（1）市民協働事業の種類

市民協働の定義：「市の実施機関と市民公益活動を行う団体が行政活動等について共同して取り組むこと」（基本条例第 2 条第 2 号）

市民協働事業の種類

- 1 財政的支援
- 2 参入の機会提供
- 3 共催・後援
- 4 意見交換・情報交換

（2）市民協働の実施状況等

◆財政的支援

40 件（令和 2 年度：41 件）

支援団体数：265 団体（令和 2 年度：253 団体）

事業数、支援団体数ともに前年度より増加している。

◆参入の機会提供（委託、協定等）

37 件（令和 2 年度：38 件）

協定により実施される市民協働事業提案制度については、2 団体の市民提案型事業が実施される予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和 3 年度の実施となった。（市民提案型）

- ・ 狛江市における乳がんの早期発見・早期治療を広め、乳がん検診率向上を目的とする事業
- ・ 新しい時代の『参加型 防災セミナー』アレルギー防災編

◆共催・後援

89 件（令和 2 年度：67 件）

新型コロナウイルス感染症等の影響により前年度より大幅に件数が減少となっている。

◆意見交換・情報交換

9 件（令和 2 年度：5 件）

新型コロナウイルス感染症等の影響により前年度より件数が減少となっている。

2. 市民協働の実施等に係る評価

新型コロナウイルス感染症の影響により、基本条例に規定する市民協働事業のうち、財政的支援については前年度より増加となった一方、その他のものについては減少となっている。市民協働事業提案制度についても、実施年度が一年後退したことにより、令和 2 年度の実施は 0 件であったが、本事業については提案件数が例年少ない状況であることから、制度の検証は随時必要であると考え、行政から、困っていることや一緒に考えたいこと等具体的に投げかけた方がよいと感じる。また、市と協働することにハードルの高さを感じる部分もあることが考えられることから、市民公益活動をスタートしたいと希望する方へのフォローややりたい

ことにチャレンジできる環境づくりも必要である。

こまえくぼ 1234 は市民活動支援の拠点であることから、団体への支援内容等についてより周知することで活用を促すとともに、何か一步踏み出したい方への後押しとなる機能を期待したい。

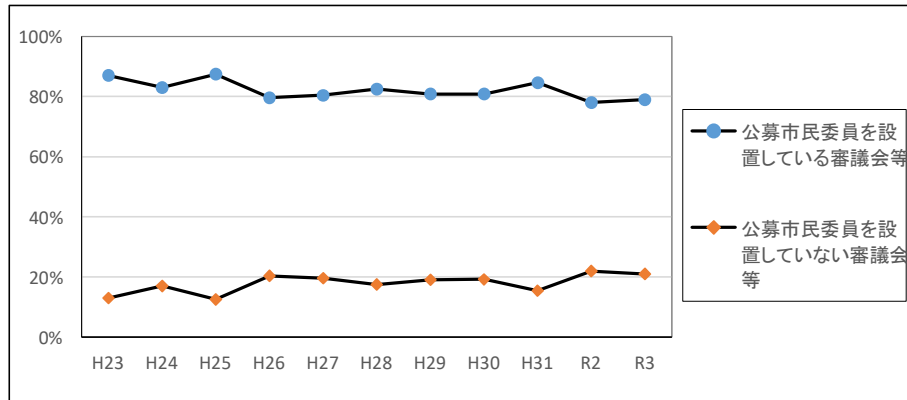
(推進に向けた取組)

- ・活動のきっかけとなる疑問や好奇心を共有・吸い上げる機会を作る。
- ・具体的な形での情報発信により、課題等の共有、自分事にできるきっかけを作る。
- ・地域コミュニティでの横の連携を強化する。

1. 公募市民委員の有無

公募市民委員を設置している審議会等	33
公募市民委員を設置していない審議会等	9
計	42

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
公募市民委員を設置している審議会等	87%	83%	88%	80%	80%	83%	81%	81%	85%	78%	79%
公募市民委員を設置していない審議会等	13%	17%	13%	20%	20%	18%	19%	19%	15%	22%	21%



2. 公募市民委員枠がない場合の理由

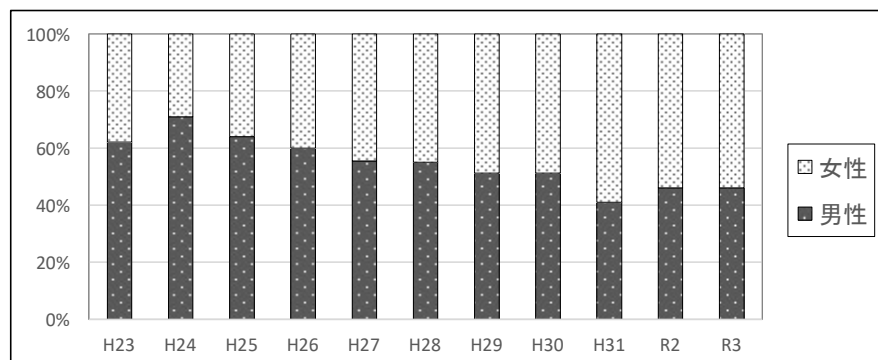
法律・条例等の規定に基づく	5
専門的・実務的な検討を行うため	4
その他	0
計	9

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
法律・条例等の規定に基づく	67%	57%	80%	50%	56%	57%	44%	40%	50%	56%	56%
専門的・実務的な検討を行うため	33%	43%	20%	20%	33%	29%	56%	60%	50%	44%	44%
その他	0%	0%	0%	30%	11%	14%	0%	0%	0%	0%	0%

3. 公募市民委員の男女の割合

男性	58	人
女性	68	人
計	126	人

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
男性	62%	71%	64%	60%	55%	55%	51%	51%	41%	46%	46%
女性	38%	29%	36%	40%	45%	45%	49%	49%	59%	54%	54%



4. 公募市民委員の応募条件＜年齢＞

	R2	R3
15歳以上	0	0
18歳以上	21	24
20歳以上	9	6
制限なし	0	0
その他	2	3
計	32	33

5. 公募市民委員の応募条件 ＜在住＞＜在勤＞＜在学＞

	R2	R3
在住・在勤・在学	19	20
在住・在勤	3	3
在住のみ	9	8
その他	1	2
条件無	0	0
計	32	33

6. 会議の公開

	R2	R3
公開	35	37
一部非公開	3	3
非公開	3	2
計	41	42

※会議未開催の場合も、実施した場合で回答

7. 会議の開催予定の公表 ※以後会議未開催(4件)の件数は含まず

	R2	R3
公表した	15	20
一部公表できなかった	5	1
公表しなかった	17	17
計	37	38

8. 会議開催時間・開催頻度

	R2	R3
平日昼間	15	12
平日夜間	19	22
休日昼間	0	1
休日夜間	0	0
書面開催	3	3
計	37	38

9. 会議資料(全部・一部)の事前送付

	R2	R3
全会議送付した	23	26
一部の会議は送付しなかった	6	7
送付しなかった	8	5
計	37	38

10. 会議録の公表

	R2	R3
公表	35	35
一部非公表	0	0
公表しなかった	2	3
計	37	38

■コロナ禍の対応 ※令和2年度実績分より項目追加

●会議開催頻度

	R2	※うちオンライン対応あり	R3	※うちオンライン対応あり
予定通り(オンライン等の活用なし)	9	—	7	—
予定通り(オンライン等の活用あり)	16	9	22	14
予定より少なかった	12	3	8	3
その他	4	0	5	0
計	41	12	42	17

●オンライン対応しなかった理由

	R2	R3
委員のオンライン環境が整わなかった	12	10
審議内容上対応が難しかった	6	3
必要性がなかった	9	7
その他	2	5
計	29	25

令和3年度市民協働事業実施状況

1. 市民協働事業の種類

市民協働事業：市の実施機関と市民公益活動を行う団体が、行政活動等について共同して取り組む事業

- ①財政的支援・・・市が団体に資金援助を行う（補助金等）
- ②参入の機会提供・・・市と団体が「委託」「協定」等を交わし、協力して実施する
- ③共催・後援・・・市が団体の事業の趣旨に賛同し、共同開催者としてその事業を実施する（共催）
市が団体の事業の趣旨に賛同し、その開催を奨励する（後援）
- ④意見交換・・・市民ニーズに関する情報や団体の持つ専門的な情報等を交換し合う（懇談会、ワークショップ等）
・情報交換

<市民協働事業総件数> (件)

	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度
財政的支援	23	37	37	38	41	40
参入の機会提供	44	45	45	49	38	37
共催・後援	204	229	210	214	67	89
意見交換・情報交換	7	11	14	17	5	9
計	278	322	306	318	151	175

2. 財政的支援（補助金等）

令和3年度事業件数：40件（補助金36件、交付金1件、助成金2件、その他1件）

<全体の交付団体数> (団体)

	H28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度
補助金等	109	129	136	154	253	265

<事業分野別件数・交付額>

	H31年度		R3年度	
	件数	交付額（円）	件数	交付額（円）
保健・医療・福祉	18	211,339,429	17	200,976,478
まちづくり	6	5,116,892	6	4,254,149
学術・文化・ 芸術・スポーツ	2	543,851	2	515,964
環境保全	1	220,500	1	220,500
災害援護	3	920,000	3	920,000
地域安全	8	3,896,293	8	5,474,004
地域振興	1	107,381,858	1	162,331,945
国際交流	1	91,789	1	185,562
地域子育て支援	1	32,500	1	150,000
計	41	329,543,112	40	375,028,602

3. 参入の機会提供（委託、協定等）

<事業件数の推移>

（件）

	H28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度
委託	29	27	28	28	20	21
協定	13	16	15	17	13	11
その他	2	2	2	4	5	5
計	44	45	45	49	38	37

<全体の参入団体数>

（団体）

	H28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度
委託	33	30	31	31	23	24
協定	37	38	38	39	35	41
その他	2	2	2	11	14	14
計	72	70	71	81	72	79

<事業分野別件数・支出額>

	R2年度		R3年度	
	件数	支出額（円）	件数	支出額（円）
保健・医療・福祉	2	456,000	2	456,000
社会教育	1	167,022	1	226,875
まちづくり	19	89,408,701	17	83,671,398
学術・文化・ 芸術・スポーツ	7	6,976,042	7	6,275,147
環境保全	9	5,004,355	9	4,579,896
国際交流	0	0	0	0
青少年健全育成	0	0	1	460,000
計	38	102,012,120	37	95,669,316

4. 共催・後援

<事業件数の推移>

(件)

	H28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	R2 年度	R3 年度
共催	50	48	54	61	31	26
後援	153	181	156	153	36	63
計	203	229	210	214	67	89

<全体の団体数>

(団体)

	H28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	R2 年度	R3 年度
共催	48	39	46	51	29	22
後援	107	111	108	101	25	42
計	153	150	154	152	54	64

※同一団体が複数の共催や後援を受けている場合があるため、団体数は件数よりも少なくなっている。

5. 意見交換・情報交換

<事業件数の推移>

(件)

	H28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	R2 年度	R3 年度
ワークショップ	0	0	3	3	0	2
懇談会	3	5	3	3	1	1
フォーラム	3	2	3	3	1	2
意見交換会	0	1	4	4	2	2
シンポジウム	0	0	0	2	0	0
その他	1	3	1	2	1	2
計	7	9	14	17	5	9

令和3年度市民モニターの実施状況について

狛江市政に対する市民の意見、要望等を聴取し、また情報を発信することで、市政への関心の向上及び市民参加を推進し、より広い民意を市政に反映させることを目的としている。

人数：97人（令和4年3月時点）

任期：令和2年度～4年度

● パブリックコメントや市民説明会、公募市民委員募集等の情報発信

	事案	市民参加の種類	発信日
1	市民センター改修・新図書館を考える市民ワークショップ	その他募集	R3. 5. 18
2	地域課題解決型子ども議会ワークショップ 「狛江市×ぼくたちわたしたち×多摩川」	その他募集	R3. 9. 2
3	市民フォーラム 小さな居場所に満ちた狛江を目指して～みんなが集える「まちの縁側」を考える～	その他募集	R3. 11. 15
4	狛江市国土強靱化地域計画（素案）	市民説明会 パブリックコメント	R4. 1. 4
5	ワークショップ～みんなのおもいえがく市民センターと新図書館～	その他募集	R4. 1. 4
6	第四次狛江市子ども読書活動推進計画（素案）	市民説明会 パブリックコメント	R4. 2. 1
7	狛江市公共施設等総合管理計画改訂版（素案）	パブリックコメント	R4. 2. 1

● アンケート調査の実施

実施なし